

令和4年度 丹波市防災会議次第

日時：令和5年2月8日（水）

午後2時00分～

場所：丹波市役所 第1会議室

一部オンライン開催

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

（1）令和4年度「大雨等、自然災害の対応状況」について 〈資料No.1〉

（2）令和4年度「防災・減災等の取組」について 〈資料No.2〉

4 連絡事項

（1）令和5年度「防災・減災に係る取組、事業の予定」について 〈資料No.3〉

5 その他

6 閉 会

令和4年度 大雨等、自然災害の対応状況について (令和4年4月～令和4年12月)

〔概 要〕

本年度、本市では局地的な大雨及び台風の影響により、大雨警報（浸水害）が1回、大雨警報（土砂災害）及び土砂災害警戒情報が2回発表された。

9月19日（月）に兵庫県へ最接近した台風第14号の際は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、市内6カ所の住民センター及びライフピアいちじまを自主避難所として開設し、35世帯46名の方が避難された。

また、今年度における大雨の特徴として短時間で局地的に猛烈な雨が降ったため、市の災害警戒態勢を敷く前に河川氾濫や土砂災害の危険度が高まった。

このような中で、市として適時適切に避難情報の発令や避難所の開設等ができる態勢を整備していくことが課題として露わとなった。

〔対応状況〕

（1）7月3日の大雨

台風第4号に回り込む暖かく湿った空気が南海上から次々と流れ込み、大気の様子が非常に不安定となったことで昼前から大雨となり、大雨警報（土砂災害・浸水害）、洪水警報、土砂災害警戒情報が発表されたことから、「災害対策本部」を設置し対応を行った。

- ・大雨警報（土砂災害）…（3日 11：53 発表、3日 20：40 解除）
- ・大雨警報（浸水害）…（3日 11：53 発表、3日 17：48 解除）
- ・土砂災害警戒情報 …（3日 12：25 発表、3日 15：35 解除）
- ・災害対策本部 …（7月3日 13：30 設置、8月1日 廃止）
- ・最大時間雨量 … 91.0 ミリ（柏原町柏原 3日 12：00）
- ・最大総雨量 … 189.0 ミリ（春日町三宝ダム 3日 05：10～4日 05：00）

(柏原町) 市道 55 号線【道路冠水】	(春日町) 市道平松線【流木流出】
	
(市島町) 竹田川左岸【護岸崩落】	(市島町) 県道市島和知線【土砂流出】
	

（2）7月9日からの大雨

日本海西部にある北進する低気圧に向かって流れ込む暖かく湿った空気や寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり9日（土）の夜のはじめ頃から春日町を中心に局地的な大雨をもたらした。

- ・大雨警報（土砂災害）…（9日 20：33 発表、9日 23：04 解除）
- ・土砂災害警戒情報 …（9日 20：40 発表、9日 21：24 解除）
- ・災害対策本部 …（7月3日からの大雨に係る対応で既に設置済）
- ・最大時間雨量 … 44.0 ミリ（栗柄ダム 9日 20：00）
- ・最大総雨量 … 88.0 ミリ（栗柄ダム 降り始め～10日 01：00）

（3）令和4年台風第14号（令和4年9月17日～9月20日）

台風第14号は9月14日（水）に小笠原近海で発生し、鹿児島島に上陸した後、19日（月）21時頃に兵庫県へ最も接近した。丹波市では、19日（月）6時40分に暴風警報が発表され、その後、神楽地区の一部で土砂災害の危険度が高くなったことから、18時04分に大雨警報（土砂災害）が発表された。

- ・大雨警報（土砂災害）…（19日 18：04 発表、20日 00：58 解除）
- ・災害警戒本部 …（19日 19：00 設置）
- ・災害対策本部 …（19日 22：30 設置、21日 16：15 廃止）
- ・自主避難所 …（19日 08：30 開設、21日 08：00 閉鎖）
 ※最大避難者数：35世帯46名（19日 19：00 時点）
- ・最大時間雨量 … 23.5 ミリ（神楽の郷交流センター19日 18：00）
- ・最大総雨量 … 124.5 ミリ（神楽の郷交流センター 降り始め～20日 12：00）

母坪浄水場水処理棟屋根の一部破損	消防団山南支団第2分団第2部詰所 雨樋の一部破損
	
青垣アフタースクール園庭内で倒木	
	

令和4年度 防災・減災等の取組について

1. 職員安否確認サービス「ANPiS」の導入

災害時等における職員の安否確認及び参集連絡を行うため、関西電力が提供する安否確認サービス「ANPiS」を導入した。

本サービスでは、従来のメール配信だけでなく LINE 配信を行うことができるとともに、災害が発生した際には該当職員から参集可否等の報告を受けることが可能となった。

2. オンライン GIS「ArcGIS」の導入

災害時等に報告される被害報告等は、これまで紙の地図を使用し情報を整理していたが、オンライン GIS（地理情報システム）である「ArcGIS（アークジーアイエス）」を導入し、情報整理を試みた。

ArcGIS で地図情報を整理することにより、複数人から集まる情報を一本化、部署横断的に情報共有することができ、迅速かつ効率的な災害対応が実現した。

訓練・災害名	ArcGIS の具体的な活用内容
5 月 21 日職員参集・情報収集訓練	各支部の情報収集担当職員に Android のモバイル端末を配布し、ArcGIS「Survey123」アプリにより、市内各地の仮定の被害状況を報告。本部では、それぞれの支部から報告された被害状況を一本化した結果を確認する訓練を実施した。
7 月 3 日大雨による災害対応	市内の複数箇所で冠水。一部の地域で土砂災害が発生し、20 戸以上の住家で床下浸水の被害も発生した。これらの被害状況を訓練で使用した ArcGIS「Survey123」アプリにより収集し、住家被害認定、罹災証明書発行、消毒材の配布についても、GIS で整理された電子地図を複数の部署が参照し、迅速かつ効率的に災害対応業務を行った。
台風第 14 号による災害対応	台風第 14 号の暴風による被害状況を訓練で使用した ArcGIS「Survey123」アプリにより収集した。さらに ArcGIS「Dashboards」アプリを活用し、災害対策本部会議にて各支部の被害状況の集約結果を共有した。

ArcGIS の導入成果



3. 令和4年度に購入した備蓄物品

本年度についても非常食の備蓄計画に基づき、フリーズドライ加工がなされている保存食や、7年間の長期保存が可能なパン・みそ汁等を購入した。

フリーズドライご飯 (わかめ・ピラフ) ×250 食	わかめスープ×1,200 袋	おみそ汁×1,200 袋
		
そのまんま OK カレー (甘口・中辛) ×300 食	7年保存レトルトパン (4種類) ×300 袋	HOZONHOZON おいしいごはん (7種類) ×200 食
		
非常用圧縮毛布 200 枚	野菜たっぷりスープ 50 箱	
		

4. 協定等の締結

- (1) 災害時における道路啓開や電気設備等の復旧に係る相互連携及び協力に関する覚書
- ・相手方／関西電力送配電株式会社 兵庫支社
 - ・協定日／令和4年6月30日
 - ・覚書内容／地震、風水害その他の災害が発生した場合における道路啓開や電気設備等の復旧に係る応急措置の支障となる障害物の除去等に関する事
- (2) 被災者生活再建支援制度の実施に係る事務委託契約
- ・相手方／被災者生活再建支援法人 公益財団法人 都道府県センター
 - ・協定日／令和4年7月4日
 - ・委託内容／被災者生活再建支援金の支給に関する事務の一部を市に委託するもの
 - (1) 支援金の支給の申請に係る書類の受付・審査
 - (2) その他、本制度の実施に必要と認められる事務

5. 避難確保計画の作成勧奨

平成29年6月の水防法等の改正により、浸水想定区域及び土砂災害警戒区域に該当する要配慮者施設で作成が義務付けられている「避難確保計画」について、未作成の事業所に対して作成を促すとともに、作成困難な施設に対しては作成支援を行った。

なお、未作成の施設に対しては今後も引き続き作成を促すこととする。

令和5年1月1日時点の作成状況

集計区分	対象数	作成済	未作成	作成率(%)
浸水のみ	80	74	6	92.5
土砂災害のみ	22	17	5	77.3
浸水及び土砂	6	2	4	33.3
合計	108	93	15	86.1

6. 教育関係機関との防災教育の取組

- (1) 鴨庄小学校
- ・年月日／令和4年5月24日（火）
 - ・内容／引渡訓練に伴う防災研修
 - ・参加者／保護者



（2）竹田小学校

- ・年月日／令和4年6月22日（水）
- ・内 容／平成26年豪雨災害に関する講話
- ・参加者／5年生児童

防災研修の様子	ドローンによる復旧現場の確認
	

（3）柏原高等学校・東奥自治会合同避難訓練

- ・年月日／令和4年7月12日（火）
- ・内 容／市内で震度6程度の地震が発生したことを想定し、避難経路の確認及び南体育館を避難場所として開設する訓練を実施。
- ・参加者／全生徒及び東奥自治会会員

避難訓練の様子	避難所開設訓練
	

（4）春日中学校防災訓練

- ・年月日／令和5年1月16日（月）
- ・内 容／避難訓練及び阪神淡路大震災に関する講話等
- ・参加者／全校生徒

避難訓練の様子	防災講話の様子
	

(5) 「ひょうご安全の日」 丹波地域のつどい（春日部小学校）

- ・年月日／令和5年1月17日（火）
- ・内 容／煙体験、消防団による活動報告、ドローン体験、起震車体験
- ・参加者／全生児童及び丹波市防災会、丹波市消防団春日支団・女性消防分団

煙体験	消防団による活動報告
	
ドローン体験	起震車体験
	

7. 自主防災組織等防災訓練（R4.4～R4.12月末時点）

防災訓練については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、大人数での座学研修は避け、役員を対象とした少人数での研修、屋外での初期消火訓練や煙体験を実施した。

防災訓練実施件数等／46件（延べ参加者数：約1,500人）

※令和3年度防災会議での報告 10件／延べ参加者数：約400人

- ・訓練内容／防災講話、初期消火訓練、煙体験など
- ・協力体制／丹波市防災会 延べ42人

※自主防災組織数／247自治会（約82.3%）→6自治会で合同組織を結成。

防災講話の様子	初期消火訓練の様子
	



8. 自主防災組織育成助成事業（R4.4～R4.12月末時点）

自主防災組織を結成している自治会を対象に、防災資機材の購入や防災訓練を実施する際の材料費等を補助。

補助率8割（上限額4万円）

- ・交付対象自治会数／47自治会
- ・助成金総額／1,654千円
- ・主な購入資機材

車イス	防災用品物置	石油ストーブ
		

9. 自治協議会防災資機材整備事業（R4.4～R4.12月末時点）

自治協議会の拠点施設を緊急指定避難場所に指定したことに伴い、自治協議会を対象に避難所開設、運営等に必要と思われる資機材の整備に対する助成制度。

なお、本制度については、本年度で事業を終了予定としている。

補助率8割（上限額10万円）

- ・事業実績数／12自治協議会
- ・助成金総額／1,123千円
- ・主な購入資機材

投光器	空気清浄機	ポータブル電源
		

10. 「親子でつくるマイ避難計画ワークショップ」

「丹波市“心 つなぐ” 防災の日」のイベントとして、「親子でつくるマイ避難計画」のワークショップを丹波市防災会及び兵庫県立大学院減災復興政策研究科の協力のもと実施した。

- ・年月日／令和4年8月6日（土）、8月7日（日）
- ・場 所／丹波市立氷上住民センター大会議室
- ・内 容／防災マップにて自宅付近における災害リスクの確認
避難方法や避難時期の確認等
- ・参加者／市内小学生とその保護者（13組32名）
- ・協 力／丹波市防災会、兵庫県立大学院減災復興政策研究科



11. コミュニティ FM 出演による防災・減災関連情報の発信

市民の防災・減災意識の高揚や自助・共助の取組みを推進し、各種防災関連情報を周知するために、FM805 たんばに職員が月1回出演（第2、4火曜19時00分に放送）し、様々な情報を発信した。

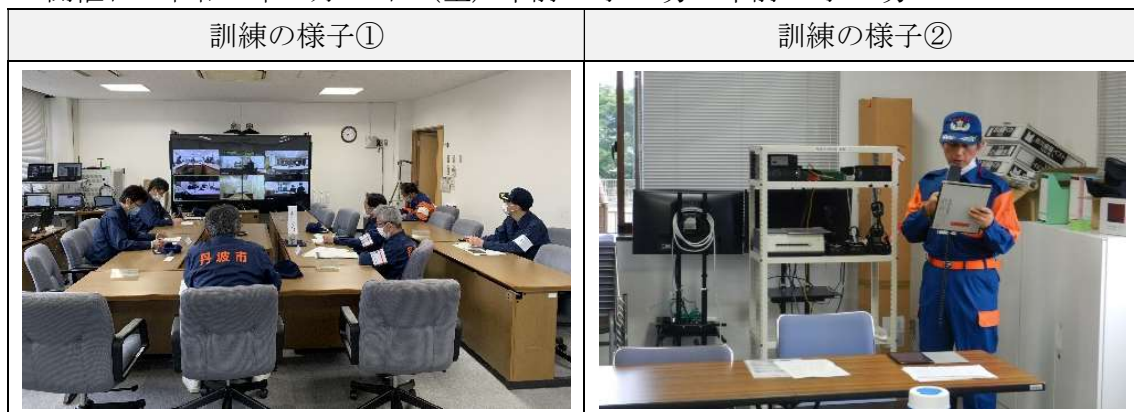


12. 職員対象の防災訓練

（1）職員防災訓練

出水期を迎えるにあたり、令和4年度の支部配備職員を各庁舎に参集させ、各班のメンバー確認及び担当業務の打ち合わせを行うとともに、本部からテレビ会議・IP トランシーバー・ArcGIS「Survey123」アプリを用いて情報発信を行う操作訓練を実施した。

・開催日：令和4年5月21日（土）午前7時00分～午前9時00分



（2）丹波市職員防災研修

近年の災害は、線状降水帯による局地的豪雨を原因とした土砂災害や河川氾濫が発生するなど、その規模は大規模・激甚化しており、その中の災害対応では新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所運営等が求められている。

このようなことから係長級以上の職員を対象とし、近年の自治体による災害対応事例、自治体が行うべき災害対応や課題を学び防災・減災に関する知識向上を目的とした研修会を実施した。

・開催日：令和4年7月29日（金）

（午前の部）午前10時00分～午前11時30分

（午後の部）午後1時30分～午後3時00分

・講師：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 阪本真由美 教授

・内容：近年の自治体の災害対応事例や自治体が行うべき災害対応及び課題について



(3) 防災担当職員の専門研修受講

研修名	参加者
Jアラート全国合同訓練	防災係職員
気象防災ワークショップ（神戸地方気象台主催）	副課長兼防災係長他2名
第三級陸上特殊無線技士養成課程受講	防災係主事
兵庫県家屋被害認定士養成講座	くらしの安全課職員

13. 家屋被害認定士の養成（市職員）

罹災証明書発行の前提となる家屋被害認定調査の実施にあたり、迅速化と統一化を担保し、十分な知識と技術を備え、即時に被害調査に従事できる人材を育成することを目的に兵庫県が実施している。今年度も感染防止対策のためオンラインでの受講となり、くらしの安全課職員2名及び税務課職員2名が受講し、新たに家屋被害認定士に認定された。

・総養成者数／113名（R04.4月時点）＋4人＝117人

14. 緊急地震速報訓練の実施

全国一斉に実施される全国瞬時警報システム（Jアラート）を活用した緊急地震速報訓練を実施した。

第2回緊急地震速報訓練では、シェイクアウト訓練を行うとともに、職員安否情報システム（ANPiS）を用いた訓練やIPトランシーバーによる通信訓練を実施した。

・第1回 令和4年 6月15日（水） 午前10時00分

第2回 令和4年11月 2日（水） 午前10時00分

職員による避難の呼びかけ	シェイクアウト訓練（一般来庁者）
	

15. 防災用品の寄贈

（1）足立織物株式会社（多可町中区安楽田 511 番地）

- ・寄贈日／令和4年10月12日（水）
- ・寄贈物品／①レトルト長期保存食 各50食
（玄米トマトリゾット・玄米カレーリゾット・玄米ジューシー・玄米エスニックピラフ）
- ②非常用おむつ（こども用） S・M・L・BIG サイズ
- ③非常用おむつ（大人用） M・Lサイズ



16. 防災行政無線（屋外拡声子局）の移設及び新設について

春日町歌道谷地内にある「市多目的公共用地」が公売にかけられることに伴い、同用地に設置していた防災行政無線（屋外拡声子局）を移設する必要があることから、従来の音達範囲を維持するため、下記用地に防災行政無線（屋外拡声子局）を移設及び新設する工事を実施している。



令和5年度 防災・減災に係る取組、事業の予定について

1. 令和5年度兵庫県・丹波地域合同防災訓練

兵庫県合同防災訓練が丹波地域（メイン会場：丹波市、サブ会場：丹波篠山市）で実施されます。

- 日時：令和5年9月3日（日）午前中
- 会場：丹波の森公苑（丹波市柏原町柏原 5600 番地）他
- 内容：風水害及び土砂災害を想定した訓練

【令和4年兵庫県・播磨広域合同防災訓練（メイン会場：多可町）】

訓練の様子①	訓練の様子②
	

2. 丹波市地域防災計画の修正

令和6年度から災害配備に係る初動体制について、班を基礎とするグループ配備に変更するにあたり、丹波市防災計画の修正を行います。

3. 災害配備体制の見直しに係る職員訓練及びマニュアル作成

令和6年度からの災害配備体制変更に向けて、各班の職員訓練及びマニュアル作成を行います。

4. 避難行動要支援者名簿の更新及び個別避難計画の作成

大規模な災害が発生した際に、高齢者や障害者などの要配慮者のうち、避難について特に支援を必要とする避難行動要支援者の把握し、名簿を作成するとともに、個別避難計画の作成を進めていきます。

5. 「心 つなぐ」防災の日イベント（親子でつくろう！わが家の避難計画）

8月16日の防災の日にちなみ、親子で住まいのハザードリスクを確認し、家族に応じた避難計画を考えるイベントを開催します。

6. 防災備蓄品の購入

令和4年度に引き続き、避難者対策用の非常用圧縮毛布や多種多様な非常食の購入を予定しています。